



# にんじん



発行日：令和7年11月10日

## 1. 卸売価格の動向

○202円/kg (11月6日)

➢ 平年比：155%

○11月の価格見通し

やや平年を上回って推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

## 2. 小売価格の動向

○412円/kg

(10月10日全国平均)

➢ 前月比：87%、平年比：104%

➢ 東京：203円（3本）

➢ 大阪：211円（3本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：7/20（前月8/20）

➢ 大阪：2/10（前月5/10）  
(機構調べ)

## 3. 家計消費動向

○198g/人 (9月全国平均)

➢ 前月比：111%

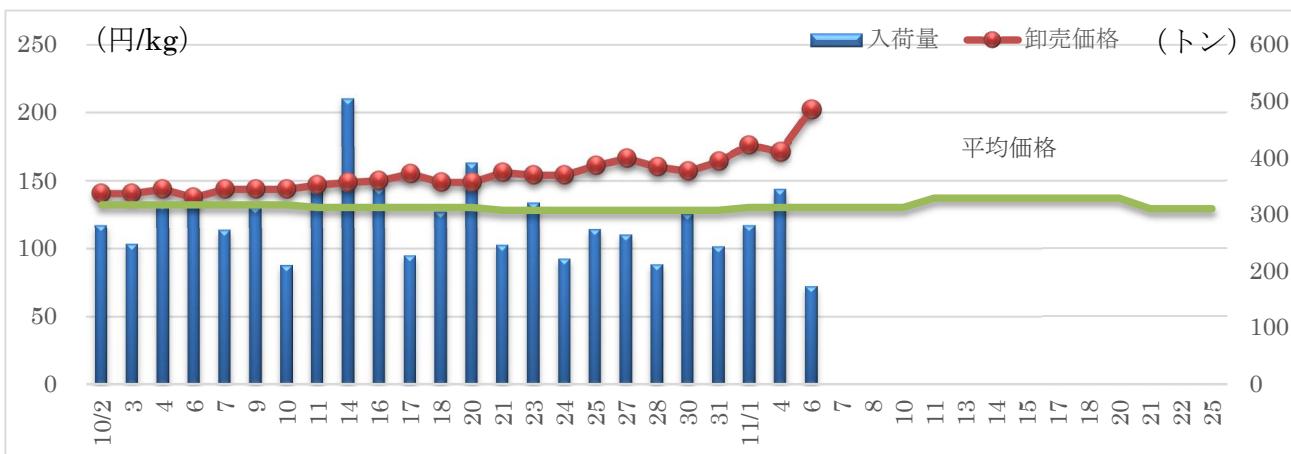
➢ 前年同月比：97%

○2,556g/人 (2024年年間)

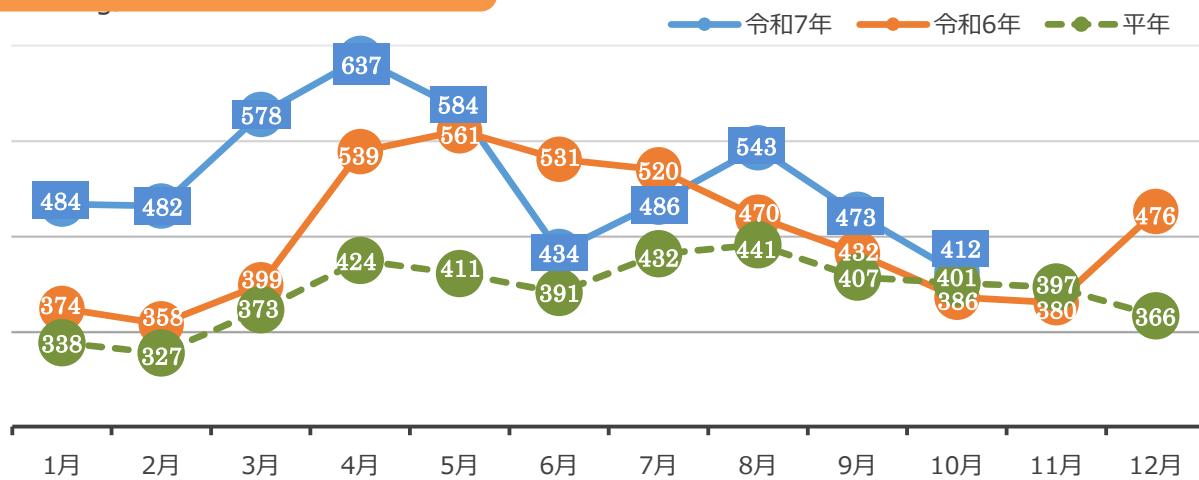
➢ 前年比：97%

(総務省統計局家計調査)

## 4. にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



## 5. にんじんの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道富良野 (8/25)	増加	平年並み	平年並み	平年並み
青森県三沢 (7/23)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
茨城県鹿島 (10/17)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県碧南 (9/25)	減少	平年並み	遅い	-
徳島県吉野川流域 (4/22)	減少	平年並み	平年並み	早い

※特記ない場合は平年比。( ) 内は調査日。

(機構調べ)



茨城県鹿島：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報（11/8～12/5）

週 別 の 天 気				
11/8～11/14				
北日本日本海側では、寒気の影響で、半年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、半年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、半年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、半年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、湿った空気の影響により、半年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。				
11/15～11/21				
北日本日本海側では、寒気の影響を受けてにくく、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないのでしょう。 北・東日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響を受けにくいため、半年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、半年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。				
11/22～12/5				
北日本日本海側では、寒気の影響を受けてにくく、半年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないのでしょう。 北日本太平洋側では、半年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 東日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、半年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。				
平均気温（1か月）		降水量（1か月）	日照時間（1か月）	
北日本	日本海側	低30 並40 高30% <b>ほぼ平年並の見込み</b>	少40 並40 多20% <b>平年並か少ない見込み</b>	少20 並40 多40% <b>平年並が多い見込み</b>
	太平洋側		少40 並30 多30% <b>ほぼ平年並の見込み</b>	少20 並30 多50% <b>多い見込み</b>
東日本	日本海側	低20 並40 高40% <b>平年並か高い見込み</b>	少50 並30 多20% <b>少ない見込み</b>	少10 並30 多60% <b>多い見込み</b>
	太平洋側		少40 並40 多20% <b>平年並か少ない見込み</b>	少20 並30 多50% <b>多い見込み</b>
西日本	日本海側	低20 並30 高50% <b>高い見込み</b>	少50 並30 多20% <b>少ない見込み</b>	少10 並30 多60% <b>多い見込み</b>
	太平洋側		少40 並40 多20% <b>平年並か少ない見込み</b>	少20 並30 多50% <b>多い見込み</b>

(気象庁 1カ月予報)

## 8. 輸入動向（生鮮にんじん）

○7,743トン (9月輸入量)

➤ 前年同月比：95%

○輸入先国ベスト3

- |       |         |
|-------|---------|
| 1位 中国 | 7,483トン |
| 2位 豪州 | 246トン   |
| 3位 米国 | 11トン    |
- (財務省貿易統計)

12,000 (トン)

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

■令和7年  
■令和6年  
■平年

## 9. 一口メモ

10月は北海道産が切り上がりとなるなか、後続の千葉産が遅れ気味で端境となって、中下旬は高値となつた。

11月は、北海道産が終了する一方で後続の千葉産が生育遅れのため、出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793